

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校武道場建設事業			会計	款	項	目	大	小
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	教育総務課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	武田 淳				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	八木中学校の生徒及び教職員	意図	武道場の建設による中学校間の格差の是正及び校地の有効利用。
事業内容	・八木中学校の武道場を建設した。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度から、学習指導要領の改正により、武道が必修</li> <li>・平成24年度に設計及び大規模改修事業により建設予定地にある旧屋内運動場解体</li> </ul>			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		武道場の設計		1			
	武道場の建設		0	1	件		
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・計画どおり平成24年度に設計業務を実施し、平成25年度に実施した。
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)			7,322,412	156,415,144			
事業費（b）（円）			7,119,000	150,510,444			
うち一般財源			7,119,000				
職員給与費(c)(円)			203,412	5,904,700			
人役・職員(人)			0.03	0.82			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)			0.01	0.16			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	終了（事業を終了すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H25)の改善計画	工事を早期に発注し、可能な限り早急に学校活動の利用に供する。
今年度(H25)に実施した取り組み	八木中の武道場建設

取り組みの課題	特になし
今後の改善計画	特になし